

あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

♪ 賛美歌を歌おう⑩

『とぎせる門を』

讃美歌…240番)

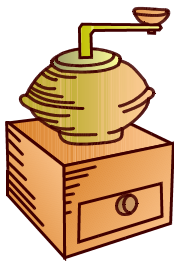
『見よ、私は戸口に立って扉を叩いている。もし誰かが、私の声を聞いて扉を開くならば、私は中に入って、その人と共に食事をし、彼もまた私と共に食事をするであろう。』黙示録3:20) この聖句に基づいて書かれた賛美歌です。

この歌の原作者、ウイリアム・W・ハウ (1823-1897) は、ロンドン東部の貧しい地域で英国国教会の主教として働き、産業革命によって経済格差が拡大するなか、貧しい労働者たちと共に生きたハウは、貧しい人の主教「あるいは労働者の子どもたちへ配慮する姿から「子どもたちの主教」

とも呼ばれました。彼は国教会の中で、より高い地位となる機会があってもそれを断り、その貧しい地域を離れることがなかったとも伝わっています。

ハウの歌には簡易な単語が用いられ、単純で分かりやすいものが多いのも、彼が愛した人々への配慮であるように思われます。

讃美歌21では訳詞がより平易な言葉に見直され、『とぎせる門の外に』(430番)として収録されており、こちらもハウの人柄が良く表れている翻訳になっています。



稲垣真実)